

# 家庭科での学習指導について

(弘前大学教育学部家政教育講座担当 加賀 恵子 先生にお聞きしました)

- ① コロナ対策で調理実習ができないなか、どのように調理の単元を充実させることができるのか。
- ② ミシンの糸をかける技能の定着にかなりの時間がかかることについて、ボランティアの活用以外で、よい方法はないだろうか。

## ①について

- 調理実習の前の調理実験や試行学習にして、材料は自分持ち、試食はしない。実習は、自宅で行う。
- 調理台の使用人数を半分に実施するために、  
「A グループは実習、B グループは計画」  
「A グループは実習、B グループは発表準備」などにする。

## ②について

- ミシンに順番を書いたシールをはる。
  - ミシンの糸掛け場面を、スモールステップで写真に撮り、いつでも見られるようにする。
- 事前の指導や工夫が必要ですが、
- マイスター制度の導入（ミシンの糸掛け、玉結び、玉どめ、紐通し・・・難易度と子供の技能、やる気で割り振る）
- ※ メリット
  - ※ やってあげるのではなく、一人ひとりが先生。達成感や自己肯定感は保証します。
  - ※ 実習中の先生の負担は、激減します。